

動物のおじいさん、 動物のおばあさん

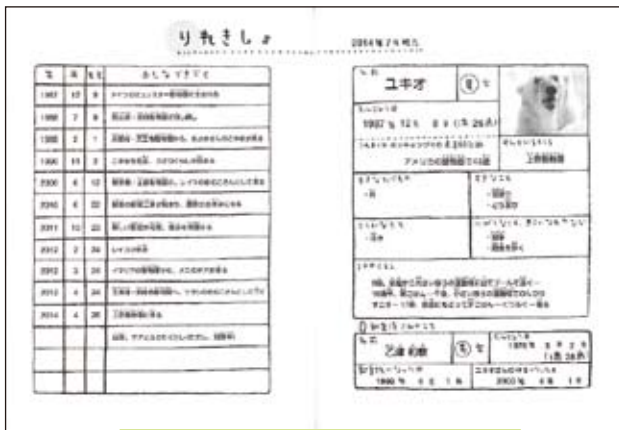
2014年
8月26日
発売!

～飼育係さんが語る、動物たちの人生～

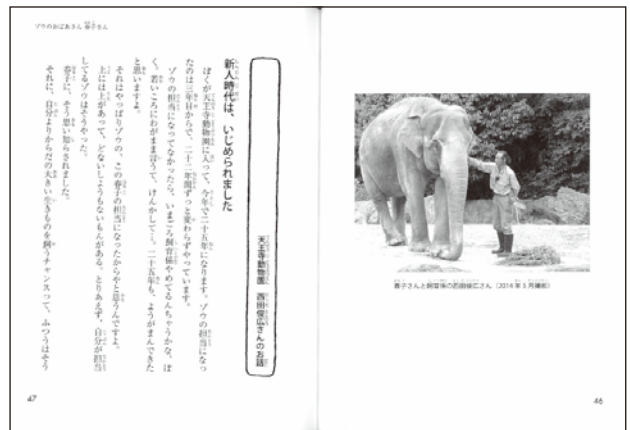
いまや動物園も高齢化社会。おじいさん・おばあさんの動物たちは、どこで生まれ、どんな出来事乗り越えてきたのでしょうか。人間に人生があるように、動物にも人生があります。本人にかわり、毎日世話をしている飼育係さんに語ってもらいました。



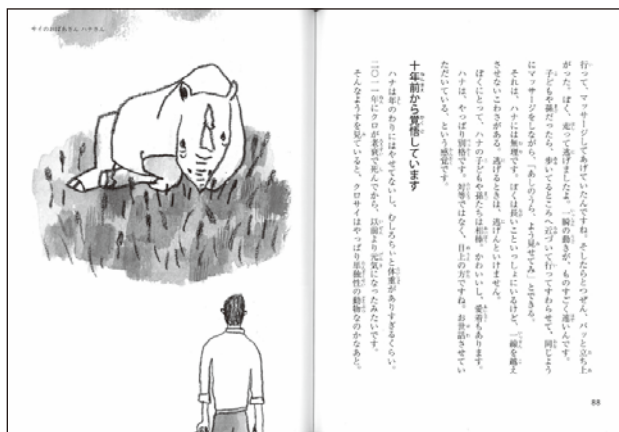
商品名●動物のおじいさん、動物のおばあさん 対象読者●小学生中学年以上
ISBN●978-4-05-203984-3 定価●本体 1,400円（プラス税）
判型・頁数●A5変型判・144ページ・オール1C
発行●株式会社 学研教育出版 発売●株式会社 学研マーケティング



▲26歳のホッキョクグマ・ユキオさんの履歴書
ドイツの動物園で生まれて、日本にやってきました。



▲66歳のゾウ・春子さんのページ
国内で2番目に高齢のアジアゾウでした（7月死去）。



▲48歳のサイ・ハナさんのページ
10頭の子どもを育てた、偉大なお母さんです。



▲44歳のゴリラ・ドンさんのアルバム
東日本大震災を乗り越えて、まだまだ元気です。

○本書で紹介する動物のおじいさん、動物のおばあさん

- ホッキョクグマのユキオさん 26歳(東京都・上野動物園) / カバのバシヤンさん 51歳(茨城県・日立市かみね動物園)
- ゾウの春子さん 66歳(大阪府・天王寺動物園) / レッサーパンダの楠さん 23歳(福岡県・到津の森公園)
- サイのハナさん 48歳(広島県・広島市安佐動物公園) / ゴリラのドンさん 44歳(宮城県・仙台市八木山動物公園)
- ラクダのツガルさん 38歳(神奈川県・横浜市立野毛山動物園)